

政策の柱	V 都市のさまざまな活動を支える都市基盤の機能と質を高めるために	政策名 (基本施策名)	2 円滑で利便性の高い総合的な交通体系を確立する	施策名	② 道路ネットワークの充実
------	----------------------------------	----------------	--------------------------	-----	---------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値（上段：目標値、下段：実績値）						達成率	
					H19	H20	H21	H22	H23	H24	H23	
					基準年	実績	実績	実績	実績	見込み	H24見通し	
◆円滑で機能的な道路ネットワークを構築するため、都市計画道路をはじめ、その他の道路整備事業を計画的に進めている。	◆総合計画で掲げた施策指標について、都市計画道路は整備路線の重点化を図りながら進められており、整備率(供用延長)は伸びている。 ⇒平成24年度末の状況としては、これまでの実績、さらに泉ヶ丘線の供用が予定されることから、指標を上回る実績となる見通しである。	102.0%	都市計画道路の整備率	%	62.7	63.4	64.1	64.8	65.5	66.2	102.0%	
			都市計画道路の未整備延長	km(約)	106	-	-	-	0	0	70.3	106.2%
課題	◆震災により、災害に強い都市の基盤づくりの重要性が再認識されたところであり、災害時における人・物資等の輸送を支える交通機能、さらに延焼防止や避難・消防などの各種活動を支える空間機能など、多様な機能を担う幹線道路については、引き続き都市の骨格的道路網の形成に向け計画的に整備に取り組んでいく必要がある。また、道路施設の延命化・耐震補強を図っていく必要がある。 ◆道路整備に係る財源は厳しい状況にあることから、事業に必要な特定財源を確実に確保していく必要がある。											
			市民意識調査（重要度・満足度）									
						H20	H21	H22	H23			
					重要度	59.4	56.7	64.8	69.0		%	
					満足度	31.4	33.6	34.7	32.6		%	

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		
幹線道路の整備			◆都市間の道路交通機能や都市防災機能を充実させるため、幹線道路の整備を計画的に推進する必要があるが、社会経済情勢による厳しい財政状況、さらに国庫補助金の内示率が低い状況が続く、事業に必要な財源の確保が難しい状況にあることから、路線毎の整備期間の長期化が懸念される。 ⇒整備着手路線における優先順位等の整理（重点化）により、平成24年度末に泉ヶ丘線が供用する見通し。	◆財政状況を踏まえ特定財源の確保を図るとともに、事業効果の早期発現に向けて整備着手路線の重点化を図っていく必要がある。
スマートICの整備		○設置	◆上河内スマートICについては、平成22年12月にフルインター化を完了した。 ◆新たなスマートICについては、平成18年度から大谷地区での検討を進めており、設置候補箇所の選定にむけて関係機関（ネクスコ、県警ほか）と協議を行っている。 ⇒ 設置に向けた調査・検討を行う。	◆新たなスマートICの整備について、関係機関との合意形成や地元の理解確保が必要である。

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値（上段：目標値、下段：実績値）					重点度 (A~C) ※施策目標に対する寄与度	事業の方向性	施策目標を達成するための取組方針
						H20	H21	H22	H23	H24			
						実績	実績	実績	実績	実績			
1	幹線市道整備事業	市民・道路利用者	H11	整備済延長	m	510	1,020	1,360	2,058	2,890	A	継続	円滑な道路ネットワークの形成や交通容量の拡大を図るため、計画的・効果的に事業を進める。
						520	998	2,009	1,193				
2	橋りょう新設改良事業	市民・道路利用者	-	整備済箇所数	橋	0	1	1	2	1	A	継続	円滑な道路ネットワークを構築するため、今後も計画的に橋りょうの整備を行っていくとともに、整備に必要な用地買収等も継続的に進める。
						0	0	1	1				

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値（上段：目標値，下段：実績値）					重点度 (A~C) ※施策目標に 対する寄与度	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
						H20	H21	H22	H23	H24			
						実績	実績	実績	実績	実績			
3	都市計画道路整備事業	市民・道路利用者	S46	整備済延長	m	60	570	0	0	1,049	A	継続	円滑な道路ネットワークの形成や交通容量の拡大を図るため、計画的・効果的に事業を進める。
				用地取得面積	m <sup>2</sup>	4,165	2,684	1,686	2,873	4,000			
4	踏切改良事業	市民・道路利用者	H13	整備済箇所数	箇所	0	0	1	1	0	A	継続	踏切での安全性の向上や渋滞解消を図るため、用地買収等を継続的に進め、今後も計画的に事業を進める。
						0	0	1	1				
5	道路バリアフリー推進事業	市民・道路利用者	S61	点字ブロック整備延長	m	1,500	1,200	1,200	1,000	800	A	継続	障がい者や高齢者を含めた全ての人に対し安全・安心な歩行空間を確保するため、計画的に事業を進める。
				段差解消	箇所	130	130	130	100	80			
6	橋りょう維持修繕事業	市民・道路利用者	H6	修繕橋りょう数	橋	6	5	0	0	1	A	継続	橋りょうの長寿命化を図り安全な交通機能を確保するため、耐震補強等の整備を効率的・効果的に進める。
				耐震補強化橋りょう数	橋	1	10	0	0				
7	プロジェクト関連整備事業	市民・道路利用者	-	整備済延長	m	578	510	795	670	580	B	継続	新設される公共施設へのアクセス性向上と、発生する交通を円滑に処理するため、計画的に事業を進める。
						791	728	674	900				
8	交差点改良事業	市民・道路利用者	H13	整備済箇所数	箇所	1	1	1	0	1	B	継続	交差点内の安全性の向上や渋滞解消を図るため、用地買収等を継続的に進め、選択と集中により事業を進める。
						0	2	0	1				
9	道路改良事業（生活道路）	市民・道路利用者	-	整備済延長	m	1,644	510	1,210	720	500	B	継続	市域における交通の安全性や利便性の向上を図るため、選択と集中を図りながら、事業を進める。
						1,816	2,334	977	1,029				
10	舗装新設改良事業	市民・道路利用者	-	舗装整備延長	m	2,970	3,880	870	730	730	B	継続	道路機能を高め道路の安全性・歩行性の向上を図るため、適切・効果的に整備を進める。
				整備面積	m <sup>2</sup>	33,285	29,569	7,645	5,569	5,569			
11	道路排水施設整備事業	市民・道路利用者	-	側溝整備延長	m	400	350	510	340	240	C	継続	道路冠水被害や通行の安全確保及び生活環境の向上を図るため、効率的・効果的に整備を進める。
						286	441	167	207				